

来訪者プロフィール

＜あいち国際女性映画祭 2025 アンバサダー＞

みしま ゆ き こ

三島有紀子（映画監督）

繁華街とオフィス街が混濁した大阪堂島で生まれ育つ。4歳から名画座である大毎地下だいまいに通い始め、18歳からインディーズ映画を撮り始める。大学卒業後NHKに入局、「NHKスペシャル」「トップランナー」など人間ドキュメンタリーを数多く企画・制作。2003年に独立し、東映京都撮影所などでフリーの助監督として日本映画と現場を学ぶ。ニューヨークでHBスタジオ講師陣の演技サマーワークショップを受ける。



2012年、オリジナル脚本の『しあわせのパン』を発表。『幼な子われらに生まれ』（2017年）では第41回モントリオール世界映画祭で審査員特別大賞、第42回報知映画賞監督賞など国内外で多数受賞。『Red』（2020年）はフランス55館で公開。監督作の6本が韓国、台湾でも公開。2023年公開のセミドキュメンタリー『東京組曲 2020』、2024年長編10本目として自主映画で完成させた『一月の声に歓びを刻め』は本映画祭にも招待された。その時ゲストで招待された演者のカルーセル麻紀さんが、毎日映画コンクール2024の助演俳優賞を受賞。

・ あいち国際女性映画祭 2023

『東京組曲 2020』 上映（国内招待作品）

トークイベントゲストとして来場

・ あいち国際女性映画祭 2024

『一月の声に歓びを刻め』 上映（特別企画作品）

トークイベントゲストとして来場